

資料1 他市と比較した米子市の補助金の水準

1 比較の基本的な考え方

補助金の水準を考える場合においては、人口一人当たりの補助金額を他市と比較する方法、税収に対する補助金額の割合を他市と比較する方法など、様々な比較方法が考えられるが、この度の比較では、「本市における補助金の総額について、どの程度が適正であるのか。」という観点から、市の財政能力に着目し、一般財源の標準的な規模を示す標準財政規模に対し、補助金がどの程度の割合で支出されているのかを他市と比較することとした。

なお、比較する他市については、本市と人口と産業構造が同じ程度である類似団体(鳥取市、松江市、出雲市等16団体)とした。

2 比較に用いる数値等

総務省が取りまとめる決算統計(平成17年度分)の19表「補助費等・維持補修費・公債費及び扶助費の内訳」の内、補助費等の「補助交付金」及び「単独で行う補助交付金」の数値を用いることとした。

【注】

○補助交付金

「補助的委託料等が若干含まれているため、いわゆる補助金の総額とは一致しない。」

○単独で行う補助交付金

「補助交付金の内、国の財源負担がないもの。(県との協調補助は単独扱いとなる。)」

3 比較結果

本市における標準財政規模に占める補助交付金の割合は(表1中X)5.60%であり、これを類似団体と比較すると約16%本市の水準が類似団体を上回っている。なお、類似団体の中で、最も低い数値と比較した場合には、約2倍の水準にある。

これを金額に換算すると、平成17年度の補助金総額については、類似団体の平均値と比較した場合には約2億3千万円、類似団体の最も低い数値と比較した場合には、約7億8千万円、歳出総額の内、補助金の支出額が多いという現状にある。

次に、標準財政規模に占める単独で行う補助交付金の割合は(表1中Y)4.52%であり、これを類似団体と比較すると約25%本市の水準が類似団体を上回っている。なお、類似団体の中で、最も低い数値と比較した場合には、同様に約2倍の水準となっている。

【表1及び2参照】

表 1

(単位：千円)

区 分	米子市 (a)	類似団体平均値 (b)	比較 (a / b)	
補助交付金 (ア)	1,609,247	1,809,517	88.93%	
単独 で行 う補 助交 付金	総務関係	295,618	196,580	150.38%
	民生関係	257,671	329,266	78.26%
	衛生関係	133,800	132,992	100.61%
	農林水産関係	51,685	190,406	27.14%
	商工関係	204,487	248,116	82.42%
	土木関係	175,873	36,754	478.51%
	教育関係	147,028	175,560	83.75%
	その他	32,938	46,089	71.47%
計 (イ)	1,299,100	1,355,761	95.82%	
標準財政規模 (ウ)	28,744,421	37,704,888	76.24%	
(ア / ウ) = X	5.60%	4.80%	116.67%	
(イ / ウ) = Y	4.52%	3.60%	125.56%	

表 2

区 分	類似団体最高値	類似団体最低値
補助交付金 / 標準財政規模 (X)	7.07%	2.87%
単独で行う補助交付金計 / 標準財政規模 (Y)	5.76%	2.07%

類似団体 (16 市) の平成 17 年度の決算状況調を基に資料を作成

4 今後の課題

補助金総額の削減については、他市の状況を勘案しつつ、本市の財政状況を鑑み、当面の削減額の目標値等を本委員会において設定する必要がある。